

# アーツカウンシル東京

## 平成28年度東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期 平成28年度 芸術文化による社会支援助成第2期 対象事業決定のお知らせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、平成28年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期、及び平成28年度 芸術文化による社会支援助成第2期の対象事業を決定いたしました。

今期は単年助成119件、社会支援助成21件の申請があり、アーツカウンシル東京での厳正な審査の結果、**単年助成 52件、社会支援助成 8件**を採択いたしました(単年助成採択率 43.7%、社会支援助成採択率 38.1%)。なお、**単年助成予定総額 54,720千円、社会支援助成予定総額 4,760千円**です。

### ◆東京芸術文化創造発信助成

「東京芸術文化創造発信助成」は、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。

【単年助成プログラム】では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートします。

### ◆芸術文化による社会支援助成

東京を拠点とする芸術団体やNPO、福祉団体等が実施する、障害者や高齢者、子供、青少年、外国人等の創造活動や体験機会の拡充と、その環境整備に資する活動を支援します。また、芸術文化を通して教育や福祉、医療、コミュニティ形成等、社会や都市の課題に向き合う活動を支援します。

## ■ 今期の助成 申請・採択件数

平成28年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期

区分 分野	公演・展示等		国際芸術交流		創造環境向上		申請件数	採択件数
	申請	採択	申請	採択	申請	採択		
音楽	9	2	3	2	1	1	13	5
演劇	25	8	6	3	1	0	32	11
舞踊	9	4	5	4	1	1	15	9
美術・映像	14	6	7	2	2	1	23	9
伝統芸能	12	8	5	4	0	0	17	12
複合・他	9	2	9	3	1	1	19	6
<b>合計</b>	<b>78</b>	<b>30</b>	<b>35</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>119</b>	<b>52</b>

平成28年度 芸術文化による社会支援助成 第2期

区分 分野	申請件数	採択件数
複合・他	4	2
音楽	2	1
演劇	6	3
舞踊	4	1
美術・映像	3	1
伝統芸能	2	0
<b>合計</b>	<b>21</b>	<b>8</b>

・対象期間：平成28年10月1日以降に開始し、平成29年9月30日までに終了する活動

■ 平成 28 年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第 2 期採択事業 一覧

申請 119 件、採択 52 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名	交付決定額
音楽	公演	都内	団体	21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」	Tokyo Cantat 2017	800
				北とぴあリゲティ・プロジェクト実行委員会	北とぴあ国際音楽祭2016参加公演「リゲティのホルン・トリオをめぐって」	480
	国際芸術交流	都内及び海外		栗コーダーカルテット	栗コーダー&フレンズ アジア6カ国 ミュージック&アート 共同制作プロジェクト	2,000
		海外		ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン2017年音楽祭	2,800
	創造環境向上	都内		kuniko kato arts project	inc. - artist incubation project 2017	800
演劇	公演	都内	団体	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	結城座×鄭義信「ドールズタウン」(仮称)	1,400
				20歳の国	花園2017(仮)	1,000
				演劇集団 砂地	「アトレウス」(仮題)	720
				快快	快快(FAIFAI)「タイトル未定」(仮)	2,000
				有限会社名取事務所	現代カナダ演劇・最新作連続公演「エレファント・ソング」	700
				sons wo:	シティⅢ	1,200
				あやめ十八番	あやめ十八番 第七回公演「霓裳羽衣」	970
				劇団子供鉦人	マクベス(仮)	1,700
	国際芸術交流	都内		アジア女性舞台芸術会議実行委員会	国際共同制作 第1弾 日本xマレーシア 『ファミリー』	1,300
				一般社団法人ミクストメディア・プロダクト	日本・パレスチナ共同創作「またさぶろう」	900
				海外	富士山アネット	Attack On Dance WorldTour 2016
舞踊	公演	都内	団体	ROCKSTAR有限会社	フェス2016～コンドルズによるコンテンポラリーダンス普及と若手カンパニー支援計画～(仮)	1,130
				プロジェクト大山	プロジェクト大山 新作公演「それでも おどって」	720
				一般社団法人天使館	花粉革命	1,200
				C/Ompany	C/Ompany主催公演「忘れろ／ボレロ」	1,000
	国際芸術交流	海外		一般社団法人ハイウッド	コンテンポラリーダンス・ショーケース JAPAN + EAST ASIA	1,300
				有限会社カラス	勅使川原三郎 新作 フランス・ツアー	1,600
		都内		OrganWorks	OrganWorksアレコレ「One Night by Three People」(仮)	700
	創造環境向上	都内		一般社団法人Co.山田うん	Co.山田うん エストニア公演ツアー	2,000
				ダンス保育園！！実行委員会	ダンス保育園！！	600

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請活動名	交付決定額
美術・映像	展示・アート・プロジェクト	都内	団体	インビジブル実行委員会	映画をめぐる視覚のあり方を問う新作映画制作	1,500
			個人	石塚 元太良	石塚元太良新作展『Demarcation(仮)』実行委員会	250
			個人	当真 さやか	暁の攪拌(仮)	400
			団体	ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ展実行委員会	ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ展(仮)	1,000
			団体	AMIT実行委員会	Art, Media and I, TOKYO (AMIT) 2017	1,000
			団体	「対話のデザインスウェーデンのホスピタルアートに学ぶ」展実行委員会	「対話のデザインスウェーデンのホスピタルアートに学ぶ」展	1,500
	国際芸術交流	都内	個人	北條 知子	Reborn Homes through my voice	450
		都内及び海外	団体	EBM(T)	TURN	800
	創造環境向上	都内	団体	一般社団法人アート東京	アート産業市場『見える化』プロジェクト	600
伝統芸能	公演	都内	団体	東京神楽坂組合	第三十四回 神楽坂をどり	1,000
			個人	清元 志寿子太夫	第2回 清元志寿子太夫 清元一太夫 清元演奏會	500
			個人	山本 亜美	山本亜美 二十五絃箏リサイタル ～紡ぐ、箏 歌～	200
			団体	公益社団法人日本三曲協会	日本三曲協会定期公演 第3回 日本の響	1,600
			個人	藤間 貴雅	第七回 貴雅の会	200
			個人	今藤 政太郎	第2回 今藤政太郎作品演奏会	500
			個人	福原 徹	徹の笛 ー第八回福原徹演奏会ー	400
			団体	飛鳥山薪能実行委員会	第十四回 飛鳥山薪能公演 及び 飛鳥山薪能 能楽鑑賞会	1,200
	国際芸術交流	海外	団体	特定非営利活動法人チームいただきます	伝統・技・美のライブパフォーマンス「一粒萬倍」	1,250
				東京高円寺阿波おどり振興協会	東京高円寺阿波おどり振興協会	1,000
				有限会社邦楽ジャーナル	野坂操壽 × 沢井一恵「変絃自在」サンフランシスコ公演(仮)	630
				公益財団法人十四世六平太記念財団	「W.B.イーツを魅了した能の演目から」ニューヨーク公演	820
				公演・展示等	都内	団体
複合・その他	国際芸術交流	海外	団体	小林美術科学	賞道のすすめ	400
		国内	団体	特定非営利活動法人日本伝統文化推進協会	伝統文化を東京からアジアへ広げようプロジェクト(竹と竹で結ぶ・和のかけ橋)	2,000
	創造環境向上	都内及び海外	団体	株式会社演劇集団円	演劇集団 円 公演 「Double Tomorrow」	2,400
		都内	団体	Interdisciplinary Art Festival Tokyo	IAFT16/17	500
	創造環境向上	都内	団体	特定非営利活動法人Explat	CINARS特別集中講義「カンパニーを国際化するための専門知識とメソッド」	1,000

## ■ 採択結果の概況

### ● 音楽分野

音楽分野の申請は第1期に引き続き、テーマ性の高い事業の申請が大半を占めました。特に海外での活動については、企画趣旨に沿って観客や参加者を具体的に想定した優れた活動が目立ちました。審査においては、事業の目的と企画内容の整合性及び実現性、また、事業の持つ影響力・普及力を総合的に判断しました。活動実績の豊富な団体の活動や長期の継続的事业については、ガイドラインの「各ステージにおける助成方針」に照らし、慎重に検討しました。

### ● 演劇分野

申請件数のうちほぼ半数が「各ステージにおける助成方針」の活動基盤形成期からのものでした。その中でも、それまでの活動実績を踏まえ、次の段階への発展を積極的に進める将来性のあるものを評価しました。活動拡大・発展期からは、社会現象等に対する意識を、独創性の高い作品へ落とし込もうとする企画が採択となっています。一方で、コラボレーションや代表作の再構築など、長年の活動の蓄積を基にしながらも新たな取り組みを取り入れた活動成熟期の団体の活動が採択になっています。また、国際進出のための制作者向けセミナー(複合分野)も採択しています。

### ● 舞踊分野

活動拡大・発展期にある中堅団体が若手団体支援に取り組むプロデュース公演や、活動成熟・トップ期にある団体が優れた舞踊作品を次代へ継承させる企画等、舞踊分野への影響力・普及力が期待できる意義深い公演事業及び欧州の振付家への振付委嘱企画といった意欲的な国際芸術交流活動や託児サービスと連携したパフォーマンス企画という創造環境の整備・向上に資する独創的な活動等の申請がありました。審査にあたっては、各申請団体の活動実績や達成目標に注目しながら、当助成の審査基準に照らし、総合的に評価しました。

### ● 美術・映像分野

従来の美術・映像の形式に留まらない複合的な内容のものが多く見られました。個人からの申請件数は引き続き増加傾向にあり、特に将来性・適時性の高い申請が多くありました。この他、鑑賞環境の向上や情報整備を目的とする事業などもあり、影響力・普及力の観点から評価しました。芸術文化によって社会課題にアプローチする革新性・独創性に富む活動の申請も見られました。当助成制度の審査基準に基づき、総合的に審査を行いました。

### ● 伝統芸能分野

申請種目は、長唄、清元、箏曲、能楽、日本舞踊、創作邦楽、民俗芸能等の多岐にわたるものでした。中堅からベテランの世代による次代への継承性を踏まえた意欲的な事業が目立った一方で、若手から中堅世代の申請数は少なめでしたが、日本の伝統文化・古典芸能の特質や魅力を見極めて表現・継承を行っていかうとする姿勢が見られました。全体的に、伝統との接点を丁寧に考えた水準の高い申請が増えています。また、海外での事業が多いのも今期の特徴となっています。

### ● 複合・その他分野

複合分野での申請は、近年増加傾向にあります。分野を横断する活動から、他の分野との協働などによって自らが抱える課題を乗り越えようとする意識がうかがえるものなど、意欲的な事業の申請が多く寄せられました。その中でも、特に革新性・独創性や影響力・普及力の面で期待できる事業を、当助成ガイドラインに基づき採択としました。

## ■ 平成 28 年度 芸術文化による社会支援助成第 2 期 採択事業 一覧

申請 21 件、採択 8 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容			実施場所	申請者名	申請活動名	交付決定額
	(創造・体験)	(環境整備)	(社会課題解決)				
複合・その他	○	—	—	都内	よむよむ・わくわく広場実行委員会	よむよむ・わくわく広場 in 足立区	600
演劇	○	—	—	都内	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク	ホスピタルシアタープロジェクト2016～インクルージブ・シアターへの誘い(仮)	500
美術・映像	—	○	—	都内	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	「アートとソーシャルデザイン」連続トーク&フォーラム	800
演劇	○	—	—	都内	特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団かんじゅく座第11回公演「ねこら！2017」	560
複合・その他	○	—	○	都内及び海外	DDD (Disability Driven Design) Project	障害を起点とした新しい価値を探るデザインプロセスの実践 vol.1	500
舞踊	○	—	—	都内	特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド	インクルーシブ・ダンスの上演をコアとする連続的な「共創」のアートプログラム開発	600
音楽	○	○	○	都内	即興からめーる団	うたの住む家プロジェクト in 両国	800
演劇	○	—	—	都内	社会福祉法人トット基金 日本ろう者劇団	清姫道成寺 — 純愛か、狂愛か。—	400

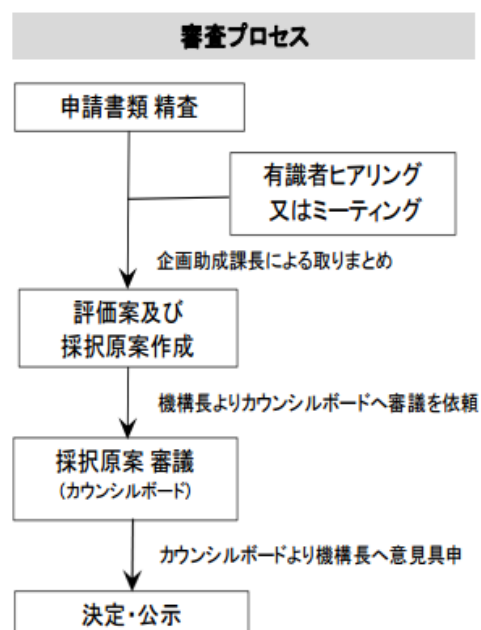
## ■ 採択結果の概況

昨年度より開始した当助成プログラムは、障害者や高齢者、子供、青少年、在日外国人等を対象に、芸術文化を用いた社会包摂を目的とした活動や、様々な社会課題に向き合う芸術活動を支援するものです。申請件数は平成27年度の19件に対し、今年度は第1期(27件)と第2期(21件)を合わせて48件と大幅に増加しました。今期で採択となったのは、申請者の課題意識が明確で独創性に富んだアプローチが考えられており、社会的なインパクトや波及効果が期待される活動です。当助成プログラムは、来年度も年2回の公募を行う予定です。随時ご相談に応じますので、申請をご検討の場合はお問合せください。

## ■ 審査プロセスと採択方法

以下の審査プロセスで、採択を決定しています。

提出された申請書及び添付資料をアートカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて企画助成課長が評価案及び採択原案をとりまとめます。採択原案をアートカウンシル東京機構長がカウンシルボードに審議を依頼し、カウンシルボードでの審議及び意見具申を経て、決定します。



### 【事業に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 佐藤  
TEL : 03-6256-8431 FAX : 03-6256-8828 E-mail : josei@artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 広報担当：森（隆）、圓城寺  
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>